

令和 5 年度 神奈川県障害者自立支援協議会 第 2 回研修企画部会 結果概要

- 1 日時 令和 6 年 3 月 8 日（金） 10 時～11 時 45 分
- 2 開催方法 オンライン（Z o o m）開催
- 3 出席者 菊本座長、大野委員、後藤委員、佐藤委員、青山委員、八重樫委員
（吉田副座長からは事前に意見を聴取。）

4 内容

(1) 相談支援従事者研修について

ア 令和 5 年度の開催状況について

（【別紙 1】より一部抜粋）

研修名	開催地域	修了者数（人）	合計（人）	
初任者	県域	177	378	852
	横浜市	134		
	川崎市	67		
現任	県域	175	430	
	横浜市	187		
	川崎市	68		
主任	県全域	44	44	

○県域の実施状況

新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、受講者が分散できるよう、通常 2 コースの実施のところ、3 コースに実施回数を増やして初任者研修と現任研修を実施した。来年度からは、通常の実施回数に戻し、2 コースで研修を実施していく予定。

また、研修を運営する中で、講師側の本研修に対する理解・認識の部分に差が生じてしまい、グループワークの助言内容等が、演習講師によってばらつきが生じてしまっているところに課題を感じている。そのため、講師側が同じ認識・理解を持って研修に臨めるよう、研修や、説明会等を引き続き開催し、講師が研修構造をしっかりと理解し、目指していくべき方向性の共通認識が持てるような研修会を開催できたらと考えている。

インターバル実習については、地域の基幹相談支援センターも実習生の受け入れにだいぶ慣れてきているものの、受講人数が多い地域では受け入れの負担が大きいという問題が出ているが、基幹相談支援センターだけでなく、主任相談支援専門員も実習の受け入れている報告もあるため、引き続き、主任相談支援専門員も基幹相談支援センターと連動しながら人材育成を行っていく体制を構築できたらと考えている。その中で、県域の研修の事務局を担っている K C N としては、スーパービジョンについても差が出ないようにしていくため、今

後、インターバル実習の受け入れのマニュアルのようなものを作成していく必要性を感じており、まずは他県からの情報を収集していきたいと考えている。

○横浜市の実施状況

これまで、新型コロナウイルス感染症の影響で、受講人数を減らしてきた状況であったが、減らしていた部分を取り返していくことを目標として、現任研修の定員を大幅に超えた実施となった。しかしながら、受講決定したとしても、やむを得ない事情で受講を中断されることや、辞退される方が多数おり、補欠の繰り上げ受講が10名以上おり、辞退者への対応について多変苦慮した。

また、受講の申し込みについても、申込期限を過ぎてからの受講の可否に関する相談があり、受講対象者への周知方法について課題を感じている。

講師の養成に関して、講師向けの事前研修を横浜市としては、実施しているものの、どこまで講師が研修内容を理解しているのかが不透明なため、よりよい研修を実施していくためにも、事前研修の内容をブラッシュアップし、工夫して実施していきたい。

○川崎市の実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響から、募集人数を大幅に減らして実施してきたが、今年度より、少しずつ人数を増やし、来年度は従来通りの募集人数で実施したいと考えている。

また、川崎市においても研修の途中での辞退者があり、どこまで補講等で救済をしていくのかということに課題を感じている。今年度は補講等の救済措置は行わなかったが、次年度以降の開催については検討していきたい。

インターバル実習については、川崎市は市内の3か所の基幹相談支援センターで受け入れを行っているが、通常業務に加えた実習生の受け入れについて負担が大きくなっているため、主任相談支援専門員や、川崎市独自の相談支援リーダーも含めた受け入れ先の調整や、受け入れ方法の工夫等を検討していきたいと考えている。

イ 令和6年度の開催予定について

「【別紙2】令和6年度開催日程（案）」を参照。

(2) 基幹相談支援センター連絡会の開催について

○令和6年度の開催について

令和6年度は報酬改定年度のため、相談員向けに報酬改定に関する説明会を基幹相談支援センター連絡会の場を活用して実施することが好ましいと考える。そのため、第1回目を早い時期に開催できるよう調整を行っていく。

第2回目については、上記のとおり、インターバル実習の受け入れ等の課題に

ついて県内で色濃くでていることから、基幹相談支援センターでの実施状況や、主任相談支援専門員の受け入れ状況等、実践報告を行えるといいと考える。また、アンケートの結果から、グループワークについては、受講者からも強く要望があるため、実施しやすい会場を調整し、情報共有の場を設けていく。

【開催日程イメージ】

回	開催時期	テーマ・内容（案）
第1回	令和6年度初旬頃	障害福祉サービス等報酬改定について
第2回	令和7年1月頃	OJTの実践報告

(3) **【令和6年度新規事業】** ピアサポート研修の開催について（事業説明）

(4) 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について（概要資料の確認）

(5) 神奈川県相談支援専門員人材育成ビジョンの改定について

ア 改定作業のスケジュールについて

4月 ワーキンググループメンバーを選定。

5月

6月 令和6年度第1回研修企画部会にて途中経過報告。

7月 改定案を作成。

8月 県障害者自立支援協議会にて改定案を報告する。

イ 改定ワーキンググループのメンバー構成について

【研修企画部会からの選出】

①座長

②副座長

③相模原市

④横須賀市

⑤圏域ナビゲーションセンターの代表

※ 横浜市、川崎市は、各市でビジョンを作成しているため、オブザーバーや、研修企画部会の委員として意見を伺っていく。

⇒改定案は、各市のビジョンとも整合性が取れ、同じ方向性を向いたものにしていく。

【研修企画部会外からの選出について（委員からの意見）】

前回の改定から、制度や、求められている機能等が大幅に変更となっていることから、下記メンバーを含めることで、より地域に届きやすいビジョンとなるとの意見が委員よりあった。

⑥KCN（県域の相談支援従事者研修を実施しているため）

⑦学識経験者（大学の教授等）

⑧地域で活躍している計画相談に携わっている人

ウ 追加・修正項目（予定）について

- ・ 自立支援協議会の機能と役割について
- ・ 圏域ナビゲーションセンターの機能と役割について
- ・ 主任相談支援専門員の役割について
- ・ 基幹相談支援センターの機能と役割について
- ・ 相談支援員について
- ・ OJTについて
- ・ ピアサポーターについて

令和5年度相談支援従事者研修実施状況について

(別紙1)

1 相談支援従事者研修

	研修名	開催回数 (コース数)	募集定員 合計	申込者数 合計	受講決定数 合計	修了者数 合計	実施日程
県域	ブレ研修	3	150	188	188	176	①9月4日～5日 ②9月11日～12日 ③9月20日～21日
	初任者研修	3	150	191	191	177	①10月11日～12月8日 ②10月18日～12月14日 ③10月26日～12月22日
	現任研修	2	200	233	182	175	①6月28日～8月29日 ②7月6日～9月7日
	主任研修	1	40	44	44	44	6月20日～7月13日
横浜市	ブレ研修	1	230	224	200	170	8月31日から9月8日
	初任者研修	1	144	202	144	134	11月9日から1月31日
	現任研修	1	180	247	180	187	7月27日から9月28日
川崎市	ブレ研修	1	80	96	78	77	10月31日
	初任者研修	1	72	92	74	67	11月22日～1月31日
	現任研修	1	72	80	73	69	7月27日～10月12日

2 専門コース別研修

研修名	開催回数 (コース数)	募集定員 合計	申込者数 合計	受講決定数 合計	修了者数 合計	実施日程
地域移行・定着支援	1	50	60	60	58	9月13日～14日
障がい児支援	1	50	12	12	12	1月21日～22日
意思決定支援 (相談支援従事者分)	1	50	24	24	24	1月18日・19日・20日

令和6年度 相談支援従事者研修開催日程

(別紙2)

1 プレ研修

募集時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目
県	2,000	1コース	100	小田原合同庁舎	8月23日	8月26日
		2コース	100	藤沢市民会館	9月3日	9月4日
横浜市		1コース	144	ウィリング横浜	映像配信	9月10日
川崎市		1コース			10月29日	映像配信
		2コース			10月29日	
		3コース			10月29日	

※ 県は、令和6年度より、プレ研修と初任者研修を併せたカリキュラムを実施していく。

2 初任者研修

募集時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
県	7,000	1コース	100	小田原合同庁舎	映像配信		10月16日	10月17日	11月13日	12月12日	12月13日
		2コース	100	厚木商工会議所			10月23日	10月24日	11月18日	12月25日	12月26日
横浜市	12,000	1コース	144	ウィリング横浜 横浜産貿ホール			11月7日	11月8日	12月10日	1月29日	1月30日
川崎市		1コース	100				11月19日	11月20日	12月26日	1月28日	1月29日

3 現任研修

募集時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目	3日目	4日目		
県	5,000	1コース	100	小田原合同庁舎	映像配信		7月9日	9月17日		
		2コース	100	厚木商工会議所			7月4日	9月5日		
横浜市	6,000	1コース	144	ウィリング横浜 横浜産貿ホール			7月23日	9月26日	8月27日	9月26日
川崎市		1コース	100				7月30日	10月15日	9月19日	10月15日

3 主任相談支援専門員研修

募集時期	受講料	コース	定員	会場	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
県	8,500	1コース	40	神奈川県 労働文化センター	映像配信	6月24日	6月25日	7月22日	7月23日

基幹相談支援センター未設置市町村に係る調査結果について

【神奈川県 基幹相談支援センター 設置状況等】

1 各市町村の状況

令和6年2月現在

市町村名	設置状況				備考（設置予定（時期）等）
	設置	設置数	直営	委託	
横浜市	○	18		○	平成28年4月に設置。
川崎市	○	3		○	平成25年4月7区に全てに設置。 令和3年7月より3部に再編成。
相模原市	○	1		○	平成24年4月に設置。
横須賀市	○	1	○	○	令和3年4月直営で設置。 (令和5年4月より、一部業務委託。)
平塚市	○	1	○		令和6年1月直営で設置。
鎌倉市	○	1		○	平成28年7月に設置。
藤沢市	○	1		○	平成25年10月に設置。
小田原市	○	1		○	令和2年12月に設置。 (箱根町、真鶴町、湯河原町と共同設置)
茅ヶ崎市	○	1		○	令和5年10月に設置。
逗子市	○	1		○	平成26年4月に設置。
三浦市	○	1		○	令和4年4月に設置。
秦野市	○	1		○	平成24年4月に設置。
厚木市	○	1		○	平成27年10月に設置。
大和市	○	1		○	平成25年4月に設置。
伊勢原市	○	2	○	○	平成24年4月に設置。 (※令和元年10月より児童部分委託)
海老名市	○	1		○	令和5年6月に設置。
座間市	○	1		○	令和元年10月に設置。
南足柄市					設置について検討中。 自立支援協議会にて1市5町での 合同設置を検討している。
綾瀬市	○	1		○	平成29年10月に設置。
葉山町	○	1		○	令和2年4月に設置。
寒川町	○	1		○	令和2年10月に設置。
大磯町	○	1		○	平成24年4月に設置。
二宮町	○	1		○	平成30年4月に設置。
中井町					設置について検討中。 単独での設置は困難なため、合同設置の方向で 話し合いを進めている。圏域内だけではなく、 交通の便等を考慮し、秦野市や、二宮町等との 合同設置も検討している。
大井町					設置について検討中。
松田町	○	1	○		平成28年10月に設置。
山北町	○	1	○		令和4年3月に設置。
開成町					設置について検討中。 1市5町での合同設置を予定。
箱根町	○	小田原市で 計上		○	令和2年12月に設置。 (小田原市、真鶴町、湯河原町と共同設置)
真鶴町	○	小田原市で 計上		○	令和2年12月に設置。 (小田原市、箱根町、湯河原町と共同設置)
湯河原町	○	小田原市で 計上		○	令和2年12月に設置。 (小田原市、箱根町、真鶴町と共同設置)
愛川町					検討しているが具体的な予定なし。
清川村					設置について予定なし。
合計	27	44	5	24	※伊勢原市は者は直営、児は委託 ※小田原市、箱根町、真鶴町、湯河 原町の1市3町は共同設置 ※大磯町と二宮町は同一法人に個別 に委託

2 概要

設置済市町村	27 (24)
設置予定市町村	0 (3)
検討中市町村	4 (3)
設置予定無し市町村	2 (4)

※()は前回 (R4.7) 回答

3 設置率

82%